

授業計画（シラバス）

■科 目	歯科診療補助Ⅱ		■講師名	橋本 治美	
I部1学年	通年	30コマ（1コマ90分授業）	総時間	60時間	実習2単位
■学修概要					
<p>歯科診療補助Ⅰと併行して、診療機器や歯科材料の取扱方法および共同動作等の背景・理論を理解した上で、これらの知識を駆使して診療補助あるいは診療を行うための技法を学習する。</p>					
■授業目的、到達目標					
<p>歯科衛生士の三大業務のひとつである歯科診療補助についてその内容を理解する。患者へ配慮をしながら、診療の流れに沿ったスムーズな補助を行うために器具・器材の取扱い方法やその留意点を理解し手技を身に付ける。</p>					
■授業方法					
実習					
■教科書（書籍名・著者・出版社）					
歯科衛生学シリーズ／歯科診療補助論		医歯薬出版			
歯科衛生学シリーズ／歯科機器		医歯薬出版			
歯科衛生学シリーズ／歯科材料		医歯薬出版			
■成績評価・講義上の注意					
出席、実習態度、レポート提出、実技テスト等による総合評価					
■実務経験					
<p>口腔外科を中心とする歯科医院での歯科衛生士として長く診療に携わる。その経験を基に専任教員として診療補助を担当。</p>					
■授業計画（講義の流れ）					
1	衛生材料作製（ロールワッテ カット綿 綿球の作製）				
2	感染予防②（手指衛生 滅菌 消毒 洗浄 医療廃棄物）				
3	歯科診療における基礎知識③（手指衛生 ユニット管理 患者誘導）				
4	印象材②（印象材実習 片顎）				
5	模型材①（歯科用石膏）				
6	相互実習オリエンテーション①（个人防护の着用、患者誘導、滅菌物取り扱い、ユニット管理）				
7	相互実習オリエンテーション②				
8	共同動作②（フォーハンド 器具の受け渡し）				
9	共同動作③（バキュームテクニック）				
10	共同動作④（バキュームテクニック フォーハンド）				
11	口腔内診査②（相互による口腔内診査、記録）				
12	模型材②（石膏取り扱い 性状 硬化調整法）				
13	模型材③（アルジネート印象 石膏注入）				
14	印象材③（アルジネート印象 石膏注入）				
15	スタディモデル①（上顎のスタディモデル 台付け）				
16	スタディモデル②				
17	スタディモデル③（下顎のスタディモデル 台付け）				
18	スタディモデル④				

## 授業計画（シラバス）

■ 授業計画（講義の流れ）	
19	印象材④（寒天連合印象）
20	印象材⑤ 実技テスト
21	合着材・接着剤③（リン酸亜鉛セメント硬化実験）
22	合着材・接着剤④（ガラスアイオノマーセメント、カルボキシレートセメント練和）
23	合着材・接着剤⑤（接着性レジンセメント）
24	仮着材・仮封材②（ストップング、水硬性仮封材、レジン仮封材）
25	対面直接行為②（隔壁歯間分離法・隔壁法）
26	対面直接行為③（歯肉圧排法）
27	対面直接行為④（ラバーダム防湿の定義、使用器材、術式）
28	対面直接行為⑤（ラバーダム防湿1 歯露出法）
29	対面直接行為⑥（ラバーダム防湿2 歯露出法）
30	対面直接行為⑦（ラバーダム防湿多数歯露出法、無翼型クランプ）  まとめ試験